出水中央高校新聞

発行所
鹿児島県出水市西出水町
出水中央高等学校
TEL 0996-62-0500
FAX 0996-62-6677

校訓
「協調」
「規律」
「勤労」

充実した夏休みに

気力こそ我が命

校長　松ヶ野　正弘

いよいよ長期の夏休みを迎える時になりました。

新入生の皆さんはもとより二・三年生の皆さんにあっても、一学期を振り返り充実した学期を送ることができたと思います。

本校の設置学科・課程にはそれぞれの特色がありますので、その目的に沿って真剣に真面目に取り組んでいる姿は高く評価できます。

さて、長期の夏休みを迎えるに当たり「気力こそ我が命」という視点で述べてみたいと思います。

人には、それぞれに持ち合わせた能力があります。その能力を能力として生かすためにはその人なりに最善の努力をする必要があります。高校生としてそれなりに能力を発揮し、実力を身につけるためには、確かな目的を持たなくてはなりません。人はそれぞれ自分の人生の上に一つの目的を持って行動するところに生きがいを感じるものです。

先日実施の第二十八回文化祭では、いろいろなアイディアと努力によって展示・舞台両部門ともに素晴らしい内容がみられました。特に、文化祭大賞を二部門とも獲得した衛生看護科三年二組の皆さんは、計画・実施と大いなる気力を持って取り組み頑張ったものと思います。担任の塩崎先生は「生徒のまとまりとその気力は偉大なものでした。」と高く評価されていました。その他、文化祭優秀賞を獲得した学級以外にも、優秀な内容のものがありました。今回の文化祭を通じて、意欲的に挑戦を試みようとする態度が素晴らしい結果を生み出す原動力になるものだと、認識を新たにしています。

意欲そのものは、「やる気」であり、「やりたい」という欲求であり、「やらねばならない」という気力の結合した心理的な状態であって、自らを啓発していこうとする姿であります。この意欲、気力こそが青春の命だと思います

私たちは、生涯を通じて人生の糧を追い求め、努力しようとするところにこそ、本来の生きがいを感じることができるのです。したがって、長い人生の過程で過酷とも思えるような厳しい条件が課せられたとしても、それを乗り切る気力、それを達成するための充実した気力を持ち合わせていなければなりません。人は、「楽をして事を成す」などという安易な気持ちを持つようなことではいけないと思います。何事にも逃げることなく、挑戦しようとする意欲を持ってはじめて人間としての生きがいを求めることができるのではないでしょうか。

三年生と専攻科二年生の皆さん、「夏を制するものは春を制する」ということがあります。暑い夏を熱く燃えてほしいのです。

生徒の皆さん、いよいよ始まる長期の夏休み、「気力こそ我が命」という気概で努力してください。

平成十五年度の入試要項決定

推薦入試一月二十四日（金）・一般入試二月一日（土）に実施

教頭・募集企画部長　川畑和美

平成十五年度の入試要項が決まりました。

入学試験は、推薦入試を一月二十四日（金）、一般入試を二月一日（土）に行います。

試験場は、本校の外、鹿児島市や水俣市など十二か所を予定しています。

募集定員は、特進課程六十名、教養課程三十名、普通課程二十五名、医療福祉科三十名、看護学科（五年課程）八十名の合計二二五名になります。医療福祉科と看護学科（五年課程）には今年度から男子も募集しています。現在は医療福祉科に八名、看護学科に十三名の男子が入学しています。

入学試験は「医療福祉科」「看護学科」とも「推薦」又は「専願」で受験することになります。「推薦」は、五段階評定もしくは実力試験の得点の基準のどちらか一方を満たすと、学力では書類審査の上合格となります。その基準は学科・課程で異なります。ただし欠席の多い生徒は推薦の対象にはなりません。「専願」は、国語、英語、数学の学力試験を受けることになります。「医療福祉科」「看護学科」は、合格したら必ず入学することが前提です。

その他、普通科に「特進課程」「教養課程」「普通課程」があります。いずれも「専願」、「推薦」「併願」で受験することができます。

他に「学業特待生制度」や「スポーツ特待生制度」もあります。「スポーツ特待生制度」では、野球部、陸上部、サッカー部、柔道部の四部を対象にしています。多数の希望者を待っています。

アイディア満載　第二十八回文化祭

テーマ「アドバンス＝前進」を掲げて実施の第二十八回文化祭は、六月二十二日（土）、多くの感動場面を演出して終了しました。

吹奏楽部の「ルパン三世」の演奏で幕を開けた舞台部門は、全員観覧で午前中にプログラムを全て終了する日程で行いました。内容は、演劇あり、歌あり、ダンスありと多彩でした。特に「ソーラン節」（上写真）は迫力ある踊りで文化祭大賞に輝きました。教養課程の職員を中心としての劇「出水中央幼稚園」も爆笑の連続で、会場を盛り上げていました。他にも見応えもあるものばかりでした。

観衆の皆さんも舞台の主役と同じ気持ちとなり、舞台・観衆が一体となった展開でした。音響・照明・進行・放送などの係も舞台作りに必死な姿が随所に表れていました。

午後からは、展示部門の見学で、賑わいました。

文化祭大賞授賞の衛生看護科三年二組の「押花体験コーナー」は美しい押花づくりに長蛇の列ができていました。

優秀賞受賞の特進課程二年一組の自作のビデオ上映や専攻科一年一組の中絶問題についてのビデオ上映には会場一杯の観覧者で盛況でした。

舞台・展示部門審査委員長の本山・波留先生は「今年の内容は、全てが優れていて審査員泣かせでした。」と高い評価でした。

生徒会長の山下峰子さんは「皆さんのパワーで素敵な文化祭ができました。次のクラスマッチや体育祭にも生かしてほしい」と述べています。

舞台部門
文化祭大賞　衛生看護科三年二組
文化祭優秀賞　衛生看護科三年一組
文化祭優秀賞　特進課程二年二組

展示部門
文化祭大賞　衛生看護科三年二組
文化祭優秀賞　特進課程二年一組
文化祭優秀賞　専攻科一年一組

大会報告

陸上部

出水・川薩地区高校陸上大会（5月9-10日）

男子	100m	市削成朗	1位 11" 01
	200m	市削成朗	1位 22" 04（大会新）
	400m	市削成朗	1位 50" 04（大会新）
		小林祐一	4位 53" 01（自己新）
女子	100m	今村優美	1位 12" 07
	200m	黒田紋乃	1位 25" 06（大会新）
	4×100mR	黒田・今村	1位 50" 01（大会新）
		土屋・藤島	

県高校陸上競技大会（5月30－6月2日）

男子	100m	市削成朗	5位 11" 44
	200m	市削成朗	3位 22" 47
	400m	市削成朗	1位 48" 89
女子	棒投げ	内薗福美	1位 37m62（大会新）
	砲丸投	内薗福美	2位 10m63（自己新）
	走幅跳	藤島美佳	1位 5m40（自己新）

全国陸上南九州地区予選大会（沖縄6月20日－23日）

男子	200m	市削成朗	5位 22" 48
	400m	市削成朗	1位 48" 79
	4×400mR	小林・市野	予選 3" 35" 60
		日川・市削	
女子	400m	黒田紋乃	予選 62" 82
	走り幅跳	藤島美佳	4位 5m60
	砲丸投	内薗福美	予選 9m73
	棒投げ	内薗福美	7位 37m08
	4×100mR	今村・黒田	準決勝 50" 21
		土屋・藤島	

市削成朗・藤島美佳の2名は第66インターハイ出場内定

野球部

出水地区春季大会　優勝

出水市長旗争奪戦　出水中央　2勝1敗

柔道部

出水・川薩地区春季大会（5月8日）

男子個人戦 100kg級　小原幸太　優勝
90kg級　前田一貴　準優勝
女子個人戦（本校のみのリーグ戦）
宮本成子　優勝
長嶋由紀　準優勝

県高校柔道新人戦大会（5月22-23日）

男子個人戦 100kg級　小原幸太　ベスト8
女子個人戦 48kg級　宮本成子　ベスト8
63kg級　宮本成子　ベスト8
藤嶋美香　ベスト8

バレーボール

出水地区春季大会　準優勝
（4勝1敗）

バドミントン

出水地区春季大会
女子個人ダブルス
西村梢・上野由香里組　4位
男子個人シングルス　岩下眞司　ベスト8

卓球

出水地区春季大会
女子団体戦　優勝
女子ダブルス
・森山こころ・鮫島吉里組　優勝
女子シングルス
・森山こころ　優勝
・鮫島吉里　準優勝

剣道

出水地区春季大会
女子団体戦　準優勝
女子個人戦　竹島明美　ベスト8

紫尾嶺

日韓共同開催のサッカーW杯は、ブラジルの五度目の優勝で一か月に及ぶ大会は終りました。日本中は、予選リーグ最終戦の六月十四日の対チュニジア戦で応援が最高潮に達しました。二対〇で勝ち、予選第一位突破を決め、翌朝の南日本新聞は新聞の題字を左上に移して、一面と最終面をぶちぬいた常識破りの紙面から国民の関心の高さと勝つことの偉大さを感じ取ることでした▼W杯の期間中、日本の出場でなくてもテレビ観戦を続け、ブレーの高度さとサッカーの醍醐味を充分堪能し、感動の連続でした▼先日、出水市文化会館で千昌夫のコンサートを観賞する機会がありました。満員の観衆の中で音量豊かで美しい歌声がホール一杯にこだまし、私を魅了しました。北国の春」や「星影のワルツ」などおなじみの曲も多数あり、ステージに吸い込まれていました。音楽について素養のない私も大いに心を動かされ感動に浸ることでした▼最近、サッカーW杯や魅惑的なコンサート、本校の先日の文化祭の素晴らしさ、県立鴨池球場に二試合続けて応援に行き、「ブレー、ブレー、出水中央高校」と叫び続けたことなど、いろいろなことに感動をおぼえています▼作家で、元鹿児島県立図書館長であった椋鳩十先生の著書の中の一つに「感動は人生の窓を開く」というのがあります。これは、県立図書館の前庭の文学碑にも刻まれており、私が県立図書館に勤務していた時、その碑を見ては、心のよりどころともなっていました▼感動は、美しいものを美しと感じ、素晴らしいものを素晴らしいと受け止める心情ではないでしょうか。それに応えられる柔軟な心を持つことが大切だと思います▼いよいよ夏休みに入ります。七月に多くの台風が発生するなど気候不順で、猛暑の夏になるかもしれません。この夏、ひとつでも多くの感動に出合えたらと思っています。（松ケ野正弘）

新任紹介

たけだこうき
武田弘毅先生
（国語）

悩める浪人時代までを鳥取、気楽な大学時代を北九州、再び悩める大学院時代を福岡で過ごし、私はついにこの出水の地にやってきました。

初めて訪れたとき、緑がとても多いことや人々が気さくなことでとても良い印象を持ちましたが、それは間違っていなかったようです。私は今、自然が本当に豊かな出水を大変気に入っています。それはまた、この学校にも言えることです。個性豊かな先生方や元気の良い生徒の皆さんにいつも元気をもらって、充実した毎日を送っています。

授業では、あなたが世界または他者とどのように関わったらよいのか、そのヒントとなるものの見方や考え方を、現代文や古文を通して扱っていきたいと思います。気軽に声をかけてください。語り合いましょう。

はやしけいすけ
林圭介先生
（英語）

この出水中央高等学校に赴任してはや三か月。ここでの教師生活は何から何まで未知の体験ですので、それを表現するならば、「暗中模索」・「猪突猛進」・「一心不乱」といったようなものでしょうか。

授業中での経験はもちろんですが、やはり職員・生徒とのコミュニケーションが非常に私には貴重なものとなっています。もちろん楽しいことばかりではないですが、教育に携わりながら、日々のコミュニケーションの中で常に新しいものを発見しています。そのときの喜びといったら、さしずめ、キューブリックの『二〇〇一年宇宙の旅』のラストで人類が「何か」を発見したときのようなものでしょうか。これからも頑張りますのでよろしくお願いします。

あいべけんいちろう
相部健一郎先生
（英語）

郷里福岡を離れ、出水中央高校に赴任してもう四か月が過ぎようとしています。憧れだった教師という職業に就き、日々充実していてあっという間の四か月でした。

先日行われた文化祭においては、内容の素晴らしさはもちろん、生徒一人一人の生き生きとした様子に感動し、教師という職業の魅力を再認識しました。ただ、授業をはじめ様々な面で自分自身の力不足を感じることも多く、周りの先生方のアドバイスを頂きながら、少しでも魅力のある授業ができる教員であるよう、自己研鑽に励もうと考えています。

ほかぞの
外薗あかり先生
（生物）

「物事が上手く進まないというのも大切だよ。安易な成功より偉大な失敗の方が貴重かもしれないしね。」これはちょうど一年前、教育実習中の失敗に落ち込んでいた私に友人がかけてくれた言葉です。

教師生活がスタートして四か月、授業や学校生活に多少慣れてきたとはいえ、まだまだ毎日が試行錯誤の繰り返しです。知識を教えるだけでなく、生徒の皆さんと一人の人間として向き合っていくのは思っていたよりも大変な仕事ですが、それ以上に皆さんの言葉や笑顔に励まされています。失敗に落ち込むことも多いですが、そこから学ぶことを忘れずに、持ち前の無謀さとパワーで、偉大な失敗から偉大な成功へ向けて進んで行こうと思っています。どうぞよろしくお願いします。

しもむらみゆき
下村美幸先生
（看護）

看護婦・士から看護師へと名称が変わり、また、五年一貫教育のスタートとなった節目の年に赴任が決まり、六年目の教員生活が始まりました。

現在、専攻科で授業していますが、生徒の皆さんには中学卒業と同時に入学した人が大半とのことです。国試合格という大きな目標（壁）に向かい、逃げ出したくなる事も多いと思いますが、なぜ「ナース」になろう！！」と考えたのか、もう一度原点に戻り、その夢をぜひゲットできるよう、看護の手と目で皆さんの成長を見護り、共に学んでいきたいと思っています。

病を持った方々を癒していく看護という学問ほど高い教養が身につくものはないと思います。一緒に頑張っていきましょう。

もりみつ
森満かなこ先生
（福祉）

私は海と山に挟まれた、南国指宿は「喜入町（きいれちょう）」からやってきました。ですから、出水の美しい川や障害物のあまりない平らな風景、野鳥の種類の豊富さに感激しています。

事務職やサービス業などの経験はありますが、教職は全くの初体験です。最近はやっと「先生」と呼ばれることにも慣れてきました。福祉という科目は、介護技術・法律・医学・家政学などとにかく学ぶことが多いのですが、いちばん大切なことは人としての心だと思います。人と接する仕事であり、その人の人生を支援する介護職はシビアな部分もありますが、その分、喜びも大きいと言えます。これからの日本の福祉を担う皆さんと共に成長していける事をうれしく思います。どうぞよろしくお願いします。

まみしんようこ
馬見新葉子先生
（看護）

二年前に中央高校を退職し、再び四月から勤務させていただいております。

生徒たちを母親のような気持ちで見守りながら、助産婦としての経験を生かし生命の尊厳と子育ての楽しさを伝えたいを思っております。

家族は夫・子供二人・長男（?）ジョン太郎（ラブラドール雄）の四人と一匹です。テニスをしたい方、是非、我が家のウィンブルドンに遊びに来てください。ジョン太郎の熱いキスでお迎えいたします。

私は北海道の出身で、こちら出水に来て十年目になります。ようやく方言も理解できるようになりましたが、蒸し暑い梅雨の季節には閉口する毎日です。

早く生徒の皆さんに慣れて、興味ある授業ができるようにと考えております。

やまだ
山田かずこ先生
（看護）

新天地であるこの出水での四か月が過ぎようとしています。

初めは慣れない環境故に、どうなることかと不安もありましたが、職員の方々に温かく見守られ、また、活気ある生徒の皆さんとの触れ合いを通し、その不安も解消されたように思います。そして、何よりも念願の看護教員になれたこと、勉学に励み目標を達成しようとしている生徒の皆さんと接することの喜びは、この出水に来たからこそ得られたものだと思い感謝しています。

その感謝の気持ちを形あるものに残せるように自己研鑽に努めていきたいと思います。さらに新しい出会いが良き出会いになるように、人間としても成長していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

くらもと
倉本クリスティーナ先生
（英語）

今年の四月、息子の小学校入学と共に、私は毎日出水中央高校に来ることになりました。一緒に住んでいる夫の両親に、二人の子供の送り迎えなどいろいろなことを協力してもらっています。

アメリカ元大統領夫人ヒラリー・クリントンが書いた本『子供は村で育つ』にはいい事が書いてあります。子供は親に育てられるだけではなく、「村」によって育てられます。つまり祖母・祖父・親戚・友達・近所の方々・学校など、すべてが大きく子供たちの成長に関わります。

出水中央高校のファミリーも生徒たちの成長を大事に見守っています。私も生徒たちを見守る一人であることを光栄に思っています。

たちばなかつみ
立花克己先生
（サッカー指導）

サッカー部監督をお引き受けしてから三か月が経過しました。

部員もようやく指導になじみ、戦う集団としての意識も高まっております。これまで、社会人・高校・中学校と指導してきた経験をふまえ、大きな夢を現実のものにしたいと思います。そのために、個々の部員が技を磨き、戦術を深く理解してプレーできるようなレベルの高いサッカーを目指しております。現在のチームは一年生を主体とした若いチームですが、七月下旬の新人大会で好成績をあげて自信をつけさせたいと思います。

これからも「心・技・体」をモットーに情熱を注いでまいります。今のチームが三年生になった時には、それなりの結果を出してくれると思います。皆さんも御期待ください。

陸上部全国高校総体出場

陸上部の全国高校総合体育大会・南九州地区予選大会は、六月二十日から沖縄県総合運動公園陸上競技場で行われました。鹿児島・宮崎・熊本・沖縄の四県から九十六校・八七三名の精鋭が集い「夢のインターハイへ」と激しくも熱い戦いを展開しました。

本校からは、県高校総体入賞の九種目に男女九名が出場しました。その結果は、市前友朗君（普三年）は、二百ｍで六位、四百ｍでは見事優勝しました。薗畠美佳さん（教三年）は走幅跳びで四位に入賞し、全国大会の出場権を獲得、二人とも二年連続出場という輝かしい結果を出しました。残念ながら男子百ｍ・男子千六百ｍリレー・女子四百ｍリレー・女子砲丸投げ・女子槍投げでは善戦空しく入賞は出来ませんでしたが、これまでの努力を称えたい思います。

顧問の久松教諭は「全国大会では、さらなる限界へ挑戦をして好結果が得られるよう期待したい」と話しています。

全国高校総体陸上競技大会は、八月二日から五日間、茨城県笠松陸上競技場で行われます。健闘をお祈りします。

県立鴨池球場で応援

全国高校野球鹿児島大会は七月六日開幕しました。

開会式直後、一回戦の対戦校の串良商業高校が創立一〇〇周年、全校応援ということで、本校からも普通課程・衛生看護科三年と吹奏楽部の百四十名を派遣しました。団長の新村洋平君（普三年）のもと統制のとれた応援を展開、衛生看護科三年一・二組は文化祭賞授賞のダンスも披露し、彩りを添えました。試合は八対四で勝ちました。

二回戦は七月十日、強豪樟南高校と対戦、教養課程・医療福祉科三年と吹奏楽部の応援団八十名を派遣しました。試合は八回コールド〇対七で敗れましたが、三十六度を越す猛暑の中、団長の波留大樹君（教三年）を中心に黄色いポンポンを使うなど必死に応援、次の出水高の応援も。吹奏楽部長の犬窪舞（教二年）さんは「大変よい経験ができました」と日焼顔で話していました。

對馬隆先生御逝去

對馬隆先生は、病気入院中でしたが六月二十七日、越谷市の病院で亡くなられました。

先生は、平成六年四月から特進課程の英語を高度な内容で指導され、卓球部では自分でもラケットを持ってコーチされるなど積極的でした。木下渉のペンネームの詩人でもありました。

三十日、越谷市で行われたお別れ会では、卒業生も全国から約六十名参列の中、松ケ野校長が弔辞を述べ、先生の御冥福をお祈りしました。

学園百景②　サッカー部室

サッカー部室は、サッカー部の強化部指定を記念して、今年の三月にグラウンドの北側に完成しました。折しもサッカーW杯が日韓両国開催の年です。

部室は、更衣室、監督室、温水シャワー室、トイレなどを備え、水道の蛇口も写真手前中央から右側に多数設置されるなど使いやすい近代的な建物です。

主将の前田友和君（普三年）は「使いやすい真新しい部室に負けないよう頑張ります」と力強く述べています。

地区ＰＴＡ開催のお知らせ

本年度も地区ＰＴＡを左記の日程で開催いたします。

今年は、従来の鹿児島県全県とその他地区を対象とした地区ＰＴＡを三日間に分割して、いずれも本校視聴覚教室で実施します。また、補習等を考慮し、午後一時から実施する日も設けるなどの変更があります。職員と保護者が膝を交えて生徒の教育について語り合う絶好の機会となっておりますので、多くの保護者の方々の御参加をお待ちしております。

期日	開始時間	会場	対象地区
7月27日（土）	10：00	本校視聴覚室	水俣・芦北
7月29日（月）	9：00	サンパレス平安閣	人吉・球磨
7月30日（火）	13：00	本校視聴覚室	出水・米ノ津・大川内
7月31日（水）	10：00	国民休暇村南阿蘇	阿蘇・菊池
8月　1日（木）	13：00	本校視聴覚室	高尾野・江内・荘・野田
8月　2日（金）	10：00	天草プリンスホテル	天草
8月　3日（土）	13：00	本校視聴覚室	阿久根・三笠・長島・大口・伊佐 姶良・鹿児島・川内・その他
8月　5日（月）	10：00	大黒屋	八代
8月　6日（火）	9：30	松橋ホワイトパレス	熊本・宇城